

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 ごーるでんえっぐ野幌

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準より多い人数配置で行っています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				年1回のアンケートを実施し、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会への参加、社内研修の実施をしています。	市内で行われる学習会・子ども部会などに積極的に参加しています。社内研修は適宜行っています。
適切な 支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様の意向・子どものニーズについて、アセスメントを行いながら確認し、職員間での話し合いをし、計画を立てています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			同法人で統一したアセスメントシートを用いて継続性のある支援を行っています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				職員間で意見やアイデアを出し合い活動内容の見直しを適宜行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				お子様の状況に応じて随時、内容の見直しを行い、柔軟性のある支援を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子様の状態を把握しながら、平日・長期休みに応じて、活動内容を変更し興味関心を引きだしながら支援をしています。	活動内容のバランスや時間配分、年齢層を考慮しながら、内容を設定して支援しています。

の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様の状態を把握しながら、個別活動と集団活動を組み合わせて計画しています。	お子様の状態を把握しながら、個別と集団の活動のバランスを大切に作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				前日の振り返り、引継ぎ事項の確認、その日の通所児童の確認、活動内容の確認、送迎後役割分担の確認を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				職員専用のSNSツールを使い、全員が支援の状況を把握できるようにしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				SNSツールを活用しています。些細なことでも情報共有するようにしています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				保護者様と面談し経過観察の見直しをしています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○					
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					主に児童発達管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				各年度の年間計画を把握しています。日ごろから保護者様と連絡を取り合い、調整できる関係作りを意識しています。	送迎時等に担任・他教諭とお会いし、お話しする機会を設け、情報交換や確認をしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○				医療的ケアが必要な児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○					必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					必要に応じて電話連絡や訪問を行っています。お互いに情報共有できる体制を整えています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	○				感染状況など情勢を把握しながら、関係者と相談しながら今後も進めていきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				参加しています。	江別市こども部会はオンラインで実施しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				保護者様専用SNSの開設し、相談があった場合は見発管が即座に対応しています。	保護者様との情報共有を密にし、共通理解を持てるように心がけています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				送迎時や面談時、SNSツールや電話などでお話しを伺い、必要に応じて助言を行っています。		

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。	その他問い合わせがあった場合には、管理者が適宜対応しています。	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○					
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○				情勢を把握しながら連携を図れるような関係を目指しています。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				保護者様専用SNSを開設し、相談しやすい体制を整え、必要に応じて助言しています。	
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				保護者様ご自身のSNSツールにお子様のお誕生日の様子を写真や動画を送っています。法人のInstagramにて保護者様に各店舗の様子を発信しています。	
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○				職員全員に個人情報についての誓約書を取り、個人情報保護管理者の指示のもと漏洩が無いよう管理しています。	
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				必要に合わせた支援ツールを作成し、円滑に疎通できるように工夫しています。	
非常時等の対応	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			情勢を把握しながら連携を図れるような関係を目指しています。
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○					
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				年2回の避難訓練（火災訓練・地震訓練）を行っています。	令和5年6月・令和5年10月に火災・地震訓練を実施しています。避難場所の確認を行っています。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○					虐待防止に関する研修会に参加しています。日々の支援において、支援者一人一人が虐待に対しての意識を高く持つこと、職員間のコミュニケーションを図るようにしています。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				契約書にて説明を行い、了承をいただいています。支援計画に記載はしていません。	
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				○		保護者様からアレルギーの有無を確認し、職員で共有しています。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。